

次期の見通し

■企業のIT投資は底堅く推移すると予想

今後、政府による経済対策の効果、雇用・所得環境の改善などが見込まれ、引き続き国内景気は緩やかながらも回復に向かっていくことが期待されます。

このような経済環境のもとで、国内企業は攻めのIT投資やマイナンバー制度導入に向けた準備などが必要とされています。そのため、企業のIT投資は底堅く推移するものと予想されます。

■ソリューション提案、クロスセル強化

このような経済状況や企業のIT投資動向に対する見通しを前提として、当社グループはお客様との接点をさらに強化し、当社グループの持つ総合力でソリューション提案をいっそう強化してクロスセルを実践し、国内企業の生産性向上や収益力向上に対するニーズに対応していきます。そして魅力あるオフィスサプライ商品の品揃え、企業活動の生産性向上や負荷軽減を支援する保守サービスメニューの開発など、ストックビジネスを強化し、お客様と安定的かつ長期的な取引関係を構築し収益基盤の充実を図ります。また、人材育成と仕組みの両面から営業力やサポート力の底上げを図り、いっそうの生産性向上を図っていきます。

2015年の市場予測

- 増税の影響は一巡、国内経済は緩やかな成長へ
- 人手不足が顕在化
- マイナンバー制度導入に向けた動き
- 「攻めのIT投資」による、生産性向上ニーズ
- Windows Server 2003 サポート終了
- モバイル、タブレット市場の拡大
- 企業のIT活用ニーズ、省エネニーズは底堅い

2015年の方針と施策

- 『お客様の目線で信頼に応え、
ソリューションでオフィスを元気にする』
- お客様との取引品目を拡大、クロスセル
 - 生産性向上、省力化に向けたソリューション提案
 - バーチャルマネージャーの活用
 - Windows Server 2003 更新提案
 - ネットワークソリューションの強化

■セグメント別の施策

システムインテグレーション事業では、企業のIT投資動向やIT活用ニーズを見極めながら、複写機、コンピューター、タブレット等のモバイル端末、電話機、回線等を組み合わせた複合システム提案や総合提案をさらに推進し、ソリューション提案の強化を図ります。また、Windows Server 2003のサポート終了やマイナンバー制度への積極的な対応を行います。

サービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」において、商材の拡充、プライベートブランド商品「TANOSEE」の充実等を図ります。また、サポート事業「たよれーる」において、システムインテグレーション事業での成果を保守等のサービス契約増につなげ、併せてハードウェアに依存しない新しいサービスを増やします。

■次期の業績見通し

次期の連結業績見通しといたしましては、売上高6,180億円(前年同期比2.0%増)、営業利益376億円(前年同期比1.4%増)、経常利益383億円(前年同期比0.4%増)、当期純利益236億円(前年同期比0.6%増)を計画しております。

セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業3,626億60百万円(前年同期比0.2%増)、サービス&サポート事業2,550億10百万円(前年同期比4.8%増)、その他の事業3億30百万円(前年同期比13.5%減)を計画しております。

売上高・利益計画

(単位：百万円)

	2014年 12月期	2015年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
売上高	605,766	618,000	+2.0%
営業利益	37,097	37,600	+1.4%
経常利益	38,144	38,300	+0.4%
当期純利益	23,455	23,600	+0.6%

セグメント別売上高計画

(単位：百万円)

	2014年 12月期	2015年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
システムインテグレーション事業	362,068	362,660	+0.2%
サービス&サポート事業	243,316	255,010	+4.8%
その他の事業	381	330	-13.5%